

会社概要

- 社名 東邦チタニウム株式会社
- 本社所在地 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎三丁目3番5号
- 生産拠点 茅ヶ崎工場、若松工場、八幡工場、
日立工場、黒部工場、岐阜工場（東邦マ
テリアル株式会社）
- 資本金 119億63百万円（2016年3月31日現在）
- 従業員数（連結） 917名（2016年3月31日現在）
- 主要な子会社 トーホーテック株式会社
東邦マテリアル株式会社
Toho Titanium America Co., Ltd.
Toho Titanium Europe Co., Ltd.
- ホームページアドレス <http://www.toho-titanium.co.jp/>

株主メモ

- 事業年度 4月1日から3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日 定時株主総会権利行使株主 3月31日
期末配当金受領株主確定 3月31日
中間配当金受領株主確定 9月30日
- 単元株式数 100株
- 公告の方法 電子公告
- 上場証券取引所 東証第一部
- 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
- 同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-782-031

株 主 通 信

第85期(2016年3月期)
連結決算のご報告

Titanium Dream



サウジアラビアで進む工場建設



東邦チタニウム株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より、当社に格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

当期（2015年度）の事業環境につきましては、金属チタン事業は、最終需要である航空機の生産、納入は堅調に推移し、一般工業用の需要についても緩やかな回復基調にありました。機能化学品事業は堅調に推移しました。

当期の業績につきましては、以上に加え、これまで取り組んできたチタン事業構造改革計画等の成果もあり、売上高は前期比28.8%増の434億24百万円となり、損益は前期の赤字から黒字に転換し、営業利益は38億90百万円、経常利益は35億41百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は42億33百万円となりました。

配当につきましては、3期ぶりに復配することとし、期末配当1株当たり5円とさせていただきます。

今後につきましては、「質の追求（管理・間接部門を含むあらゆる部門において差別化できる品質、コスト、納期、商品等の追求）により経営基盤（収益、財務、人材及び成長の各基盤）を強化、確立する」との中長期経営戦略に基づき事業運営に取り組んでまいります。

当社及び当社グループの未来を切り拓くべく全力を尽くしてまいりますので、株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援、ご指導を賜わりますようお願い申し上げます。

2016年6月



東邦チタニウム株式会社

代表取締役社長 加賀美 和夫

財務ハイライト



(注) 当期から決算日が12月31日である連結子会社2社について、決算日現在で仮決算を行う方法に変更し、2015年1月1日から2016年3月31日までの15ヶ月間を連結しております。このうち2015年1月1日からの3ヶ月間の売上高は19億19百万円、営業利益は52百万円、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はそれぞれ84百万円であります。

業績予想

単位：百万円

	2015年度実績	2016年度予想
売上高	43,424	33,500
営業利益	3,890	3,000
経常利益	3,541	3,100
親会社株主に帰属する当期純利益	4,233	2,600

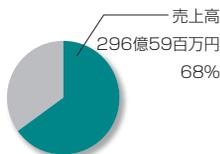
※なお、上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

セグメント情報

□ 金属チタン事業

主要製品

- ・ スポンジチタン
- ・ チタンインゴット
- ・ 高純度チタン
- ・ チタン加工品
- ・ チタン系粉



スポンジチタンにつきましては、航空機向けを中心に販売が増加いたしました。また、インゴットにつきましては、海水淡水化プラントの新規案件に加え、造船・電力向けも引き続き堅調で、需要は総じて回復基調に推移しました。これらを背景に、スポンジチタン及びインゴットの売上高は、増販及び円安等により前期に対し増加いたしました。

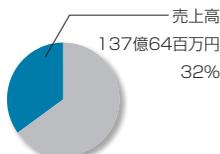
また、スポンジチタン生産は、茅ヶ崎工場と若松工場を合わせ、稼働率80%台半ばで操業いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は前期比35.3%増の296億59百万円となり、チタン事業構造改革計画の成果もあって営業利益も18億15百万円（前期は32億30百万円の損失）となりました。

□ 機能化学品事業

主要製品

- ・ プロピレン重合用触媒
- ・ 超微粉ニッケル
- ・ 高純度酸化チタン



触媒関連製品及び電材関連製品の売上高は、販売先であるポリプロピレン業界、電子部品業界の好調を受けての増販及び円安等により前期に対し増加いたしました。

この結果、当事業の売上高は前期比16.9%増の137億64百万円となり、営業利益も前期比64.4%増の38億40百万円となりました。

両事業の営業利益から全社費用を差し引いた結果、当期の営業利益は38億90百万円となりました。

連結財務諸表（要旨）

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

□ 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	当期	前期
	2016年3月31日	2015年3月31日
(資産の部)		
流動資産	29,168	32,869
固定資産	53,864	55,628
有形固定資産	48,220	54,650
無形固定資産	264	353
投資その他の資産	5,379	623
資産合計	83,033	88,497
(負債の部)		
流動負債	24,510	35,718
固定負債	22,329	20,571
負債合計	46,840	56,290
(純資産の部)		
株主資本	35,862	31,629
その他の包括利益累計額	210	463
非支配株主持分	119	114
純資産合計	36,192	32,207
負債純資産合計	83,033	88,497

□ 連結損益計算書

単位：百万円

科目	当期	前期
	2015年4月1日～ 2016年3月31日	2014年4月1日～ 2015年3月31日
売上高	43,424	33,702
売上原価	34,762	31,666
売上総利益	8,661	2,035
販売費及び一般管理費	4,771	4,674
営業利益	3,890	△ 2,638
営業外収益	119	540
営業外費用	468	496
経常利益	3,541	△ 2,595
特別利益	1,586	586
特別損失	1,618	571
税金等調整前当期純利益	3,510	△ 2,579
法人税、住民税及び事業税	229	56
法人税等調整額	△ 959	1
法人税等合計	△ 729	58
当期純利益	4,239	△ 2,638
非支配株主に帰属する当期純利益	6	△ 4
親会社株主に帰属する当期純利益	4,233	△ 2,633

□ 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	当期	前期
	2015年4月1日～ 2016年3月31日	2014年4月1日～ 2015年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,945	7,307
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,954	△ 1,100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,088	△ 6,406
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 45	39
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 1,142	△ 159
現金及び現金同等物の期首残高	2,368	2,528
現金及び現金同等物の期末残高	1,226	2,368

トピックス

□ 経営理念の改定

本年4月、当社グループは経営理念及び行動基本方針を見直し、次のとおりとしました。

経営理念

東邦チタニウムグループは
チタンと関連技術の限りない可能性を追求し
優れた製品とサービスを提供し続けることで
持続可能な社会の発展に貢献します

行動基本方針

私たちは、経営理念を実現するため次の3つの基本方針に基づき行動します。

1. 安全とコンプライアンスを最優先し、健全で公正な企業活動を行います。
2. 変革と創造を実践し、従業員と企業の持続的成長を果たします。
3. 顧客、地域社会、株主をはじめとする全てのステークホルダーと対話を進め、信頼・共生関係を築きます。

今回の改定は、次のポイントに基づき行いました。

- (1) 事業領域の変化
 - ・チタン関連技術に基づき展開してきた機能化学品事業が着実に成長
 - ・新規事業開発の今後の積極的展開
- (2) 製品づくりとともに関連するサービス（技術提案等）を提供することの重要性
- (3) サステナビリティ（持続可能性）を意識した社会貢献
- (4) 行動基本方針を日常的に意識し行動しやすい内容に整理
この経営理念及び行動基本方針の下、事業運営に取り組んでまいります。

□ 超微粉ニッケルの工場新設を決定

当社の機能化学品事業で製造している超微粉ニッケルの生産能力を増強するため、新工場を建設することを決定いたしました。

超微粉ニッケルは、積層セラミックコンデンサ（MLCC：Multi Layer Ceramic Capacitors）の内部電極として使用されます。MLCCは電気・電子製品等における「電源供給の補助・安定化」「雑音の抑制」等の役割を果たし、スマートフォン、タブレット、PC等の電子機器の他、各種自動車電装部品に搭載されています。

MLCCの堅調な需要に支えられ、超微粉ニッケルは順調に販売が伸びており、今後も更なる需要の拡大が見込まれる中、能力増強とBCP対応を含めた生産拠点の複数化を進めることとし、今般、新工場を若松工場（福岡県北九州市）に建設することといたしました。

新工場の生産能力は30t/月であり、現在の茅ヶ崎工場（神奈川県茅ヶ崎市）における生産能力60t/月と合わせた生産能力は90t/月となります。

投資額は32億円、営業運転開始は2018年2月を予定しております。

□ 順調に進むサウジアラビア合弁事業

サウジアラビアでのスポンジチタン製造合弁事業では、製造設備の建設工事が現地ヤンプー市で順調に進捗しております。また、本年2月合弁会社が設立され、当社社員も工事管理、購買経理等、5月末現在で19名が赴任しており、現地業務に取り組んでおります。若松工場では、現地工場完成後操業の中心的役割を担う68名のサウジアラビア現地採用者が研修を受けており、計画どおり進捗しております。

□ チタン製記念碑・名板設置

当社の本社・茅ヶ崎工場がある神奈川県茅ヶ崎市内に耐食性に優れた当社グループのチタン製モニュメント及び名板が設置されました。

2015年8月茅ヶ崎海岸に「日本初ロケット火薬実験の地記念碑」、同年11月の駅ビルのリニューアルオープンにあわせて更新することとなったJR茅ヶ崎駅南口の「茅ヶ崎駅」の名板、さらに2016年1月に供用開始された茅ヶ崎市役所新庁舎出入口の「茅ヶ崎市役所本庁舎」の名板は、いずれも当社子会社であるトーホーテック株式会社が製作・納入いたしました。



「茅ヶ崎駅」のチタン製名板